令和3年度事務事業実績評価表

1 事業概要

課名	学校教育課	事業No.	246
会計	一般会計		
事業区分	政策	実施区分	継続
開始		終了	

事務事業名	人間関係づくり支援事業

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	3	“結いの心”に根ざす教育を実践し、豊かな心とリニア時代を生きる力を育む
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画	
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	小中学校児童生徒
	意図	学校におけるいじめ・不登校・問題行動等への対応を支援したり、教育相談体制を充実することで、児童生徒が安心して学校生活を送れるようにする。

2 事業内容

3年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
1　中学校区に教育支援指導主事を配置し、関係機関と連携し不登校児童生徒一人ひとりに寄り添った支援をしました。 2　中間教室に適応指導員を配置し、不登校児童生徒の学習指導等を行いました。 3　互いの良さを認め合える人間関係づくりに取り組み、授業づくりや学級づくりに関する支援、教職員を対象にした研修会を開催しました。 4　ムトスぷらざ内に教育支援センターを設置するための準備を進めました。 5　いじめや虐待の未然防止や早期発見に努め、関係機関と連携し迅速かつ組織的に対応しました。	講師等謝礼	75
	相談室、中間教室消耗品費	190
	印刷製本費	66
	教育相談員、中間教室通信運搬費	35
	体験活動保険料、施設使用料	5
	不登校児童生徒支援事業交付金	1,078
	教育相談員人件費	2,615
	中間教室適応指導員人件費	4,307
	教育支援指導主事（人間関係担当）人件費	17,603
	その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	令和3年度 計画	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和4年度 実績	令和5年度 計画	令和5年度 実績	令和6年度 計画	令和6年度 実績
教育相談・中間教室適応指導員の配置	人	3	3						
教育支援指導主事（人間関係担当）の配置	人	7	7						
生徒指導等研修会の開催	回	3	2						
不登校支援連絡会の開催	回	15	15						
通室民間施設数	個所	5	9						

3年度決算(千円)

			特定財源内訳及び補足事項
予算額		26,930	
決算額		25,974	（そ）ふるさと寄附金
財源の状況	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	1,800	
	一般財源	24,174	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	1	2	13	1	1,880	1,449	教育相談事業費
2	1	10	1	2	1	3	2,635	2,615	会計年度任用職員人件費
3	1	10	2	2	1	3	2,158	2,146	会計年度任用職員人件費
4	1	10	3	2	1	3	20,257	19,764	会計年度任用職員人件費
5									
6									
7									

振返り課題認識	・不登校児童生徒の在籍比率が増加しています。（H30年度:1.50　R元年度:1.90　R２年度:2.28　R３:2.74） ・小学校の不登校児童数は93名で前年度より41名も増加しており、特に高学年に進むにつれ多い状況です。 ・中学校の不登校生徒数は124名で前年度より6名減少していますが、２年生が多い状況です。 ・小学校６年生から中学校１年生に進級した中一ギャップに加えて小学５・６年生の不登校児童数が増加しています。
上記の課題解決のための有効策	・不登校対策５つのアクションに基づく、学校と関係者でチームとして共有する「誰一人取り残さないチーム支援」、中学校区への「教育支援指導主事の配置」、学級編成替えや小学校高学年への教科担任制等の導入といった「学校独自の取り組みへの支援」、ソーシャルスキルを身に着ける「生徒指導研修会の活用」を継続することが必要です。
次年度に向けての取り組み	・各中学校区に教育支援指導主事を配置し、管内の不登校状況や課題を共通します。 ・不登校の予防的、開発的な支援としてソーシャルスキルを身に着ける生徒指導研修会を開催します。 ・教育支援センター「びーいんぐ」を開設し、学校や家庭、関係機関や民間施設と連携し学びの場を見つけます。